

今年度、二十歳になられます636名の皆さん、おめでとうございます。

瑞穂市民を代表して心よりお祝い申し上げます。

これまで愛情深く手塩にかけて立派に育ててこられましたご両親の皆様方、お子様のご成長、誠におめでとうございます。

そして、ご臨席をたまわりましたご来賓の皆様、小・中学校で、ご指導いただきました恩師の先生方、いつも温かく見守っていただきました地域の方々に厚くお礼を申し上げます。

冒頭で黙とうをしていただきましたが、元日に石川県能登半島地震が発生し、震度7を観測しました。94人のかたが犠牲になっており、また、15自治体で373の避難所で約3万3000人が身を寄せて不自由な生活をされています。さらに被災地に向かおうとしていた海上保安庁の飛行機と旅客機が衝突、炎上し5人の尊い命が亡くなりました。心からお悔やみを申し上げますとともに、避難所で苦しい生活をしておられる方々にお見舞いを申し上げ、1日も早い復興・復旧を願うばかりです。

さて、瑞穂市は昨年5月で20周年を迎えました。瑞穂市も皆さんと同じく20年という節目となる記念の年でありました。新型コロナウイルス感染症で、人と人とのつながりが薄れてしまいましたが、記念式典をはじめ、記念事業やイベントを市民の皆さんのご協力を得ながら毎月毎週のように開催し、活気を取り戻してまいりました。改めて、市民の皆さんの活力を実感させていただきました。今後も20周年で掲げた3つのテーマ「人権の尊重」「平和の維持」「環境の改善」と、「ウェルビーイングみずほ」(持続的な幸福)の実現に向け、魅力あるまちづくりを市民の皆さんと一緒に進めてまいります。

また、重要施策として、さまざまな子育て支援を実施してきましたが、将来を担う子どもたちが、未来を描き希望をもって心豊かに成長できる「こどもまんなか社会」の構築を目指し、先日4日に「こどもまんなか応援サポーター宣言」を行いました。今後も子どもを真ん中に据えたさまざまな活動を展開していきます。

二十歳を迎えられた皆さんのもつ若い力や発想も、市の施策に積極的に取り入れながら、市民の皆様が健やかで幸せな生活を送ることができるよう「健幸都市みずほ」の実現を目指したまちづくりをしていきます。

皆さんは、瑞穂市で育ち、立派に成長されました。たとえ瑞穂市を離れていたとしても、この魅力ある「ふるさと瑞穂」を思う心を持ち続けていただきたいと思います。また、瑞穂市の行政に対する意見なども進んで発信していただくようお願いします。

目まぐるしく変化する昨今の社会情勢の中であって、様々な課題や問題に直面することが多くあると思います。皆さんは、これまで、さらにこれからも同じ時間を同じように歩いていく同級生です。悩みや楽しみを共有できるよき仲間です。このつながりを大切にし、生涯にわたってよき仲間として助け合い、協力しながら、困難を乗り越えていかれることを願っております。

皆さんが持つ無限の可能性に期待を寄せながら、瑞穂市としても全力で皆さんの成長を支援していきたいと思っております。

本日の会を行うに当たり、昨年7月より二十歳の皆さんで構成される実行委員会のメンバーが中心となり準備を進めていただきました。今日までのご尽力に対し、深くお礼と感謝を申し上げます。

結びとなりますが、皆さんの洋々たる前途に幸多からんことを祈念し、併せて、ご参集の皆さまにとって本年が良い年となりますよう心よりお祈り申し上げ、私からの「お祝いの言葉」とさせていただきます。

令和6年1月7日 瑞穂市長 森 和之